記入例①　給与支払報告書（総括表）

普通徴収として提出するためには、同封の「普通徴収への切替理由書」（うぐいす色）が必要となりますのでご注意ください。

空欄の場合は法人番号（１３桁)、個人事業主の方は個人番号（１２桁）を右詰めで記入。

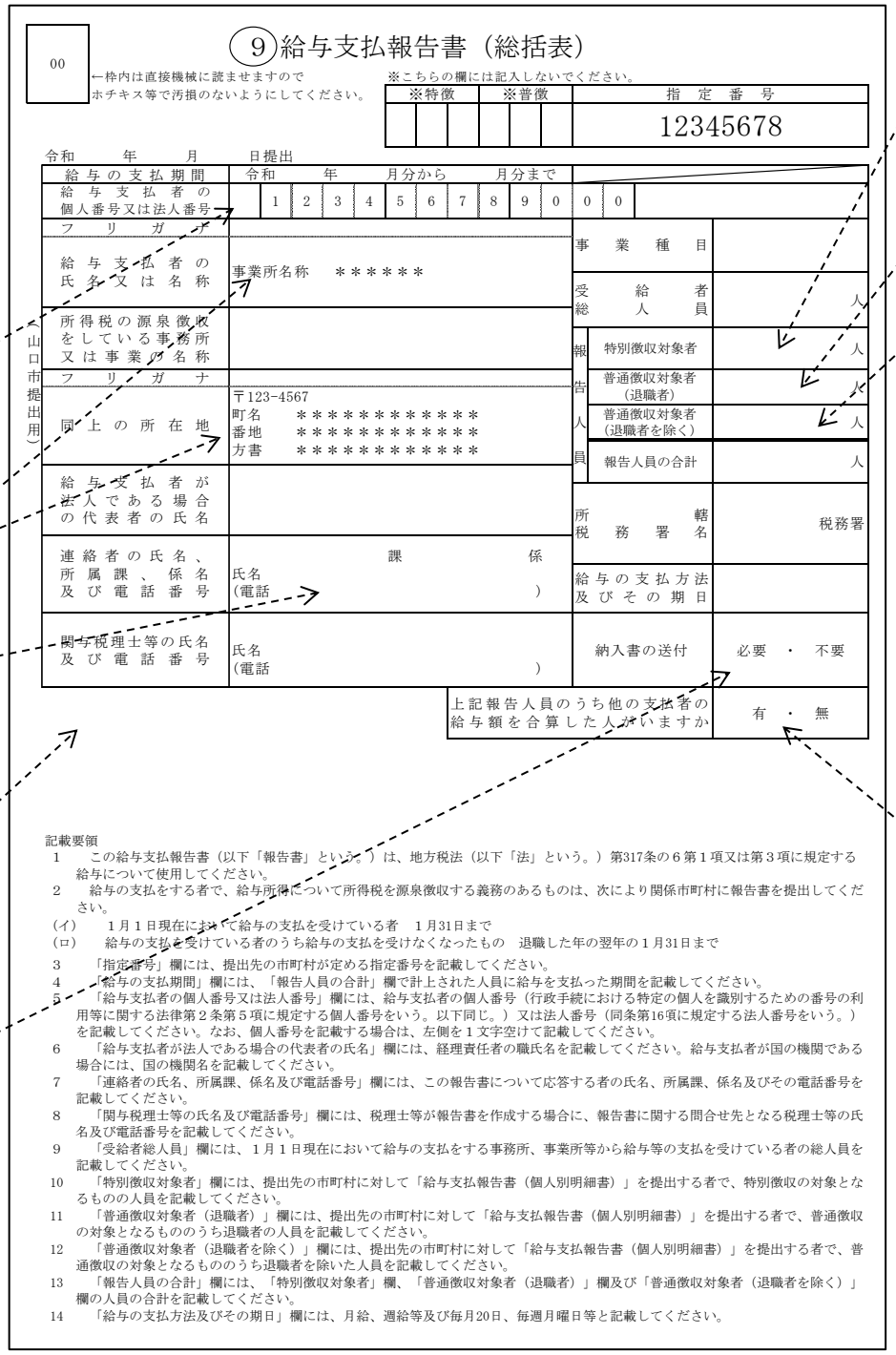
印字されているが訂正がある場合は赤字で訂正。

給与支払者の名称又は氏名、所在地の印字誤りや変更がある場合は赤字で訂正。

電話番号を忘れずに記入。

所在地以外に書類送付を希望される場合は余白に記入。

どちらかを〇で囲む。
※不要を〇で囲んだ場合、特別徴収税額決定通知書の発送（毎年５月中旬）の際に納入書は同封されません。



⑨給与支払報告書（総括表）

00

←枠内は直接機械に読ませますので
ホチキス等で汚損のないようにしてください。

※こちらの欄には記入しないでください。

※特徴	※普徴	指定番号
		12345678

令和　年　月　日提出

給与の支払期間	令和　年　月分から　月分まで		
給与支払者の個人番号又は法人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 0 0		
フリガナ		事業種目	
給与支払者の氏名又は名称	事業所名称　＊＊＊＊＊＊	受給者総人員	人
所得税の源泉徴収をしている事務所又は事業の名称		報告人員 特別徴収対象者	人
フリガナ		普通徴収対象者（退職者）	人
同上の所在地（山口市提出用）	〒123-4567 町名　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ 番地　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ 方書　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	普通徴収対象者（退職者を除く）	人
		報告人員の合計	人
給与支払者が法人である場合の代表者の氏名		所轄税務署名	税務署
連絡者の氏名、所属課、係名及び電話番号	課　係 氏名 （電話　）	給与の支払方法及びその期日	
関与税理士等の氏名及び電話番号	氏名 （電話　）	納入書の送付	必要　・　不要
		上記報告人員のうち他の支払者の給与額を合算した人がいますか	有　・　無

記載要領

1　この給与支払報告書（以下「報告書」という。）は、地方税法（以下「法」という。）第317条の６第１項又は第３項に規定する給与について使用してください。

2　給与の支払をする者で、給与所得について所得税を源泉徴収する義務のあるものは、次により関係市町村に報告書を提出してください。

(イ)　１月１日現在において給与の支払を受けている者　１月31日まで

(ロ)　給与の支払を受けている者のうち給与の支払を受けなくなったもの　退職した年の翌年の１月31日まで

3　「指定番号」欄には、提出先の市町村が定める指定番号を記載してください。

4　「給与の支払期間」欄には、「報告人員の合計」欄で計上された人員に給与を支払った期間を記載してください。

5　「給与支払者の個人番号又は法人番号」欄には、給与支払者の個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第２条第５項に規定する個人番号をいう。以下同じ。）又は法人番号（同条第16項に規定する法人番号をいう。）を記載してください。なお、個人番号を記載する場合は、左側を１文字空けて記載してください。

6　「給与支払者が法人である場合の代表者の氏名」欄には、経理責任者の職氏名を記載してください。給与支払者が国の機関である場合には、国の機関名を記載してください。

7　「連絡者の氏名、所属課、係名及び電話番号」欄には、この報告書について応答する者の氏名、所属課、係名及びその電話番号を記載してください。

8　「関与税理士等の氏名及び電話番号」欄には、税理士等が報告書を作成する場合に、報告書に関する問合せ先となる税理士等の氏名及び電話番号を記載してください。

9　「受給者総人員」欄には、１月１日現在において給与の支払をする事務所、事業所等から給与等の支払を受けている者の総人員を記載してください。

10　「特別徴収対象者」欄には、提出先の市町村に対して「給与支払報告書（個人別明細書）」を提出する者で、特別徴収の対象となるものの人員を記載してください。

11　「普通徴収対象者（退職者）」欄には、提出先の市町村に対して「給与支払報告書（個人別明細書）」を提出する者で、普通徴収の対象となるもののうち退職者の人員を記載してください。

12　「普通徴収対象者（退職者を除く）」欄には、提出先の市町村に対して「給与支払報告書（個人別明細書）」を提出する者で、普通徴収の対象となるもののうち退職者を除いた人員を記載してください。

13　「報告人員の合計」欄には、「特別徴収対象者」欄、「普通徴収対象者（退職者）」欄及び「普通徴収対象者（退職者を除く）」欄の人員の合計を記載してください。

14　「給与の支払方法及びその期日」欄には、月給、週給等及び毎月20日、毎週月曜日等と記載してください。

市・県民税・森林環境税を特別徴収（給与天引）する人数を記入。

●特別徴収できない方（退職者）の人数を記入。
●退職者以外で特別徴収できない方の人数を記入。

また、普通徴収該当の方の個人別明細書の摘要欄には以下の項目を記入。

①「普通徴収希望」および
②普通徴収への切替理由書記載の切替理由に該当するアルファベット（ａ～ｆ）
【記入例】普通徴収希望（ａ）

税額の計算に影響するため、必ずどちらかを〇で囲む。
「有」の場合は、個人別明細書の摘要欄に前職分の以下の項目を記入。

①支払者名
②所在地
③退職日
④給与支払額
⑤源泉徴収税額
⑥社会保険料

記入例②　給与支払報告書（個人別明細書）

・「乙欄」適用の方で給与天引きを希望される方は、摘要欄に「特別徴収希望」と赤字で記入してください。
・内容の変更や追加があり、再提出される場合は、摘要欄に「訂正分」、「追加分」と赤字で記入してください。
・金額等訂正される場合は、訂正印を押印してください。

19 歳以上 23 歳未満(H16.1.2～H20.1.1 生)の扶養親族の人数。

＜重要＞
令和 8 年度税制改正により所得税の基礎控除の引上げ等が行われていますので改正事項をよくご確認ください。

特定親族特別控除の適用を受ける場合は特別控除額・人数を記入。（控除額は国税庁ホームページ参照）

摘要欄
・専従者給与の場合は「専給」と記入。
・５人目以降の扶養親族の氏名を記入。
　・16 歳未満の扶養親族の場合は「氏名（年少）」
　・控除対象扶養親族が非居住者の場合は「氏名（01～04 の内対応する数字）」
　・16 歳未満が非居住者の場合は「氏名（年少・非居住者）」
・中途就職の場合
　・前職分について以下の項目を記入。
　｛①支払者名　②所在地　③退職日
　　④給与支払額　⑤源泉徴収税額　⑥社会保険料｝
　・前職のない場合は「前職なし」
　・前職の源泉徴収票を未提出の場合は「前職未提出」
・退職手当等を有する扶養親族がいる場合、以下の項目を記入。
　｛①（退）②氏名　③続柄　④退職所得を除く合計所得金額｝
・年齢 23 歳未満の扶養親族を有する場合の生命保険料控除の特例の適用がある場合は、「租税特別措置法第 41 条の 15 の 5 第 1 項適用」と記入。（詳細は別紙参照）

令和８年中の各保険料の支払内訳を全て記入。
控除額ではなく**支払金額**を記入。

特定親族特別控除に該当する親族の場合は、区分欄に「10～90」「11～91」を記入。（区分の詳細は国税庁ホームページ参照）

本人が未成年者(H21.1.3 以後生）の場合○を記入。

法人番号(13 桁)、個人事業主の場合は個人番号(12 桁)を記入。

⑨ 給与支払報告書（個人別明細書）

※	※種別	※整理番号	※

支払を受ける者	住所	※区分	(受給者番号)
	山口市小郡下郷609－1		(個人番号) 123456789012
			(役職名)
			氏名 (フリガナ) ヤマダ タロウ / 山田 太郎

種別	支払金額	給与所得控除後の金額（調整控除後）	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額
給与・賞与	内 11,400,000 円	円 9,300,000	円 5,610,000	内 66,800 円

(源泉)控除対象配偶者の有無等	老人	配偶者(特別)控除の額	控除対象扶養親族の数（配偶者を除く。） 特定	老人	その他	特親	16歳未満扶養親族の数	障害者の数（本人を除く。） 特別	その他	非居住者である親族の数
有 ○ / 従有		円 260,000	人 1 / 従人	内 1 / 人 2 / 従人	人 1 / 従人	人 1 / 従人	人 5	内 1 / 人 2	人	人 2

特定親族特別控除の額	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額
円 510,000	内 420,000 円 830,000	円 120,000	円 50,000	円 245,000

(摘要)
（前職）山口旅行(株)　山口市秋穂東6570　R8.3.31退職　支払金額　950,000円　源泉徴収税額　85,400円　社会保険料　265,000円
(1)中村　美和(02)　(2)山田　夏帆(年少)　　(退)山田　大（子）所得200,000円(退職除く)

生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額	旧生命保険料の金額	介護医療保険料の金額	新個人年金保険料の金額	旧個人年金保険料の金額
	円 1,000,000	円	円 80,000	円	円 120,000

住宅借入金等特別控除の額の内訳								
住宅借入金等特別控除適用数	2	居住開始年月日(1回目)	02 年	3 月	1 日	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住	住宅借入金等年末残高(1回目) 14,500,000 円
住宅借入金等特別控除可能額	245,000 円	居住開始年月日(2回目)	03 年	5 月	30 日	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	認(特特)	住宅借入金等年末残高(2回目) 10,000,000 円

(源泉・特別)控除対象配偶者					
(フリガナ)	ヤマダ ハナコ	区分	配偶者の合計所得	円 300,000	国民年金保険料等の金額 円 / 旧長期損害保険料の金額 円
氏名	山田 花子				基礎控除の額 620,000 / 所得金額調整控除額 150,000 円
個人番号	987654321098				

控除対象扶養親族			16歳未満の扶養親族		
1	(フリガナ)	ヤマダ ヨウ	区分 01	(フリガナ)	ヤマダ タイガ
	氏名	山田 洋		氏名	山田 大河
	個人番号	998877665544		個人番号	336699887744
2	(フリガナ)	ヤマダ アヤ	区分 30	(フリガナ)	ヤマダ レイ
	氏名	山田 彩		氏名	山田 怜
	個人番号	112233445566		個人番号	552211447788
3	(フリガナ)	ヤマダ マサル	区分	(フリガナ)	ヤマダ ユウジロウ
	氏名	山田 大		氏名	山田 勇次郎
	個人番号	774411002255		個人番号	775533226655
4	(フリガナ)	ナガムラ ハジメ	区分	(フリガナ)	ヤマダ ミサキ
	氏名	中村 肇		氏名	山田 美咲
	個人番号	885522114477		個人番号	221144552233

5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号
(1)001122334455
5人目以降の16歳未満扶養親族の個人番号
(2)556622338899

未成年者	外国人	死亡退職	災害者	乙欄	本人が障害者 特別	その他	寡婦	ひとり親	勤労学生

中途就・退職 就職	退職	年	月	日	受給者生年月日 元号	年	月	日
○		8	4	1	昭和	40	8	11

支払者		
個人番号又は法人番号	1234567890123	(右詰で記載してください。)
住所(居所)又は所在地	山口市亀山町2－1	
氏名又は名称	山口技術研究所(株)	(電話) 083-922-4111

（市区町村提出用）
(摘要)に前職分の加算額、支払者等を記入してください。

計算方法等につきましては、国税庁ホームページをご覧ください。

令和９年１月１日現在の住所。

個人番号(12 桁)を記入。

フリガナを記入。

所得税と復興特別所得税の合計額を記入。

日本国外に居住する（＝非居住者）扶養親族の人数を記入。

扶養控除の対象とならない 16 歳未満(H23.1.2 以後生)の扶養親族の人数を記入。

収入金額ではなく**所得金額**を記入。

基礎控除の額にかかわらず記入。

配偶者及び 16 歳未満の扶養親族が日本国外に居住する非居住者の場合は○を記入。

控除対象扶養親族が日本国外に居住する非居住者の場合は、区分欄に「01～04」を記入。
01…30 歳未満または 70 歳以上
02…30 歳以上 70 歳未満、留学生
03…30 歳以上 70 歳未満、障害者
04…30 歳以上 70 歳未満、38 万円以上送金
居住者…空欄（※源泉徴収票を e-Tax 等で税務署へ提出する場合は「00」と記入）

元号は和暦（漢字）で記入。

社印等の押印は不要。